

梅檀

修学旅行 六年生

十月二十一日～二十二日に、修学旅行が行われました。コロナ渦の中、実施が心配されましたが、北部地区での自然体験を行うことで、感染予防対策を行いながら、実施することができました。



東村又吉農園でジップラインをしました。



出発式では、保護者の方と全児童に見守られ、東村へ向かいました



次日は大保ダムでカヌー体験
午後はパークゴルフを行いました



おいしい夕食とレイクタイム



午後は学びの森でガイドさんの説明を受けながらやんばるの森を散策しました。



子どもたちは、やんばるの自然とふれあい、思いっきり楽しんでいました。世界自然遺産登録の機会に、このような体験ができたのは貴重だったと思います。
旅行中は、お互いを思いやる優しい場面がたくさんみられました。六年間過ごす中で、お互いの性格や特性を認め合い、仲の良いクラスになったのだと、実感しました。卒業まであと五ヶ月です。思い出をたくさんつくって旅立ってほしいです。



軽石がやってくる

小笠原沖から国頭村海岸にやってきた軽石の様子を調べようと、子どもたちは漁港や辺土名川に行きました。あまりの量に驚き、海や水の生き物を心配していました。早く元の状態に戻ってほしいです。

福島県から学校訪問

十月二十日、福島県の須賀川第三小学校から、国頭村の学校をぜひ見学したいと一人の先生が本校にいらっしやいました。朝から授業参観をされる中で、子どもたちが対話によって学んでいる姿



や先生方の丁寧なかかわり方を「学ばることがたくさんありました」とおっしゃっていました。